

いたばし いせき はなまき し おおはさままち なんとうぶ
板橋遺跡は、花巻市大迫町の南東部に位置します。
そぞうごう し しょ やぎまきがわ
花巻市大迫総合支所から南東へ約 7.3km、八木巻川上
だんきゅうめんじょう りっち
流の右岸段丘面上に立地しています。

この遺跡では、昭和 30 年代から多数の縄文時代の
いぶつ はんい
遺物が発見されていたものの、その範囲や内容は長ら
く不明でした。平成 3 年度に大迫町内遺跡発掘調査事
業の一環として、大迫町教育委員会によって遺跡の範
じっし
囲確認調査が実施されました。

この調査により、縄文時代中期（約 5,000 ~ 4,000
ちゅうき
年前）たてあなたてものあととう こうき
の豎穴建物跡 1 棟、縄文時代後期（4,000 ~
3,000 年前）の豎穴建物跡 3 棟が確認されました。出土
ばんき
遺物は、縄文時代後期から晩期（約 3,000 ~ 2,300
年前）のものが中心で、土器、石器、土偶、土製品、
せきせいひん ふく
石製品などが含まれます。土器の中では、器面に粘土
つぶは そうしき
の粒を貼り付けて装飾した縄文時代後期後葉の「コブ
付土器」が多く見つかり、中には、岩手県内でも出土
みずさしがた
例が少ない「水差形土器」と呼ばれる注口土器もあり
ました。

板橋遺跡は、土器、
土偶、土製品、石器、
石製品といった多様
かつ豊富な遺物が出
土した、非常に貴重
な遺跡です。



水差形土器出土状況（1991 年度調査）